

経営比較分析表（平成28年度決算）

愛知県小牧市 小牧市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	ド透I未訓ガ	救臨が災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
153,471	44,459	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

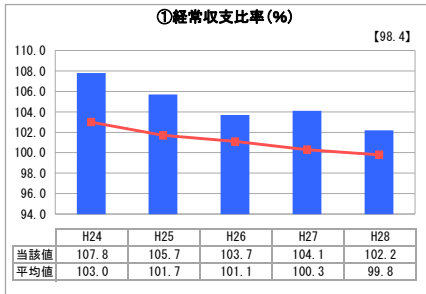
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
558	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	558
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
558	-	558

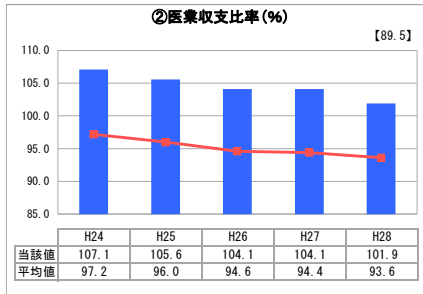
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

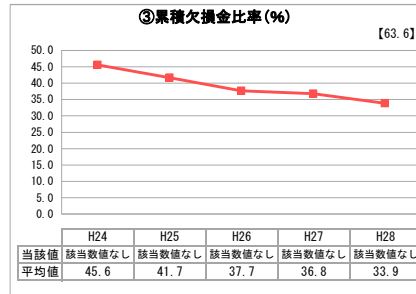
1. 経営の健全性・効率性



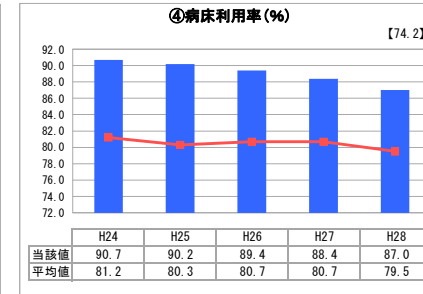
「経常損益」



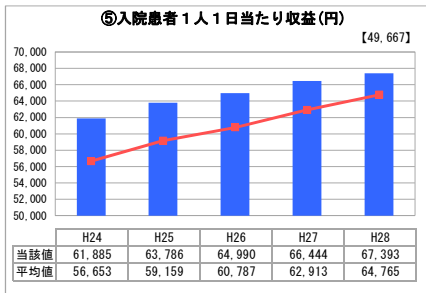
「医業損益」



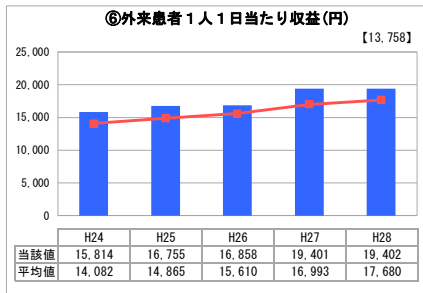
「累積欠損」



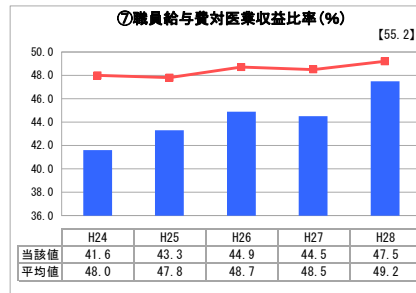
「施設の効率性」



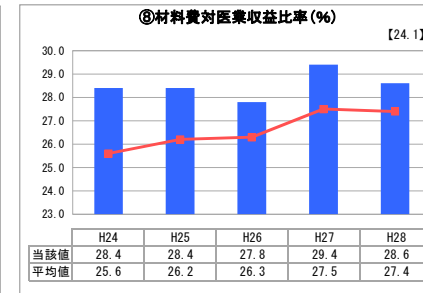
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

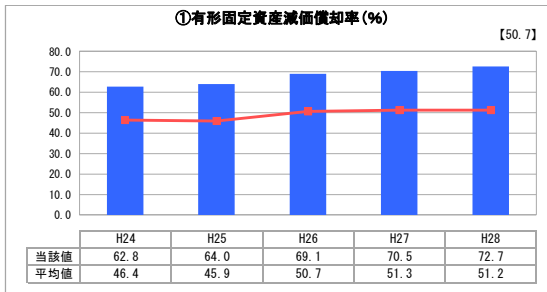


「費用の効率性①」

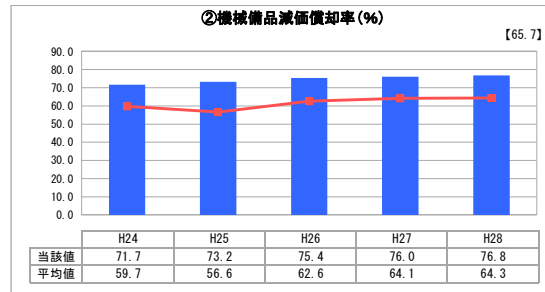


「費用の効率性②」

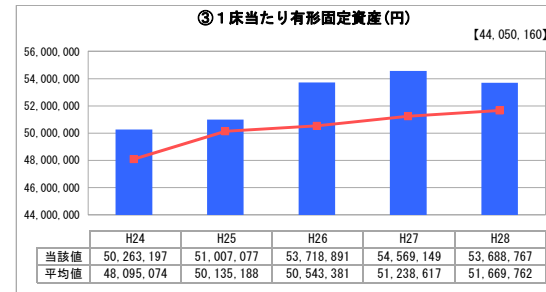
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院の役割は、尾張北部医療圏の中核病院として、救急医療、高次医療、がん診療を中心とした医療を継続的に行う高度急性期及び一般急性期における役割と、公的医療機関として、採擇性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供する役割である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び②医業収支比率共に100%を上回り、③累積欠損金もなく健全な経営状況を保っている。
④病床利用率については、平均値は上回っているものの、経年比較では低下傾向にあるため、今後地域医療機関との連携や、病床管理対策による病床利用率の向上を図っていく。
⑤、⑥の入院患者・外来患者1人1日当たり収益は、増加傾向で効率的に収益を確保できている。
⑦職員給与費対医業収益比率について、看護体制7対1の維持や、医療の質の向上に一定の職員数が必要のため増加傾向にあるが、平均値は下回っている。
⑧材料費対医業収益比率について、H27年度以降は高額薬剤導入の影響で高止まりしている状況にある。今後ベンチマークを活用した交渉により材料費率の低減に努めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率及び③1床当たり有形固定資産の指標各々が平均値を大きく上回り、経年比較においても増加傾向にあり老朽化が進んでいる。ただし、当院は既に新病院建設に着手しており31年度に開院予定であるため、老朽化の状況については対処済みである。

全体総括

平均と比しても比較的良好な経営状況が続いているが、医療を取り巻く経営環境は大変厳しく、引き続き①収入増加・確保対策、②経費削減・抑制対策が求められる。
①収入増加・確保対策については、分析欄に挙げたほか、クリニカルパス等を活用した平均在院日数の短縮化、地域医療期間との連携による専門治療や高次医療を必要とする患者の受け入れにより効率的な収益の確保に努める。
②経費削減・抑制対策については、材料費の価格交渉のみならず委託契約の業務内容等の見直し、再リースの活用による経費削減を行っている。そのほか、新病院建設に伴う減価償却費の増加により一時的に経常収支比率が100%を下回ることが予想されるが、小牧市民病院改革プランで100%超回復の目標年度をH37年度に設定し、なお一層の経営の効率化を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。